

紀勢自動車道 みやま きいながしま (海山IC～紀伊長島IC) 開通



紀勢自動車道(海山IC～紀伊長島IC)開通 ～「命・絆・元気の道」が開通 そして東紀州を一つに～

紀勢自動車道(H26. 3)の開通により期待される効果

○命・絆・元気の道 紀勢自動車道開通 ……P1

○命の道

高度な医療施設群も近くなります ……P2

災害時の避難・移動も高速道路で安全・確実に ……P3

津波から逃れる場所として使えるように ……P4

迅速な救命・救援活動を支えます ……P5

○絆の道

これまで遠かった家族も近づけます ……P6

○元気の道

名古屋から日帰りでにぎわい創出へ ……P7

2014熊野古道世界遺産登録10周年 ……P8

熊野尾鷲道路(H25. 9)の開通により発現した効果

○元気の道

H25. 9高速道路開通で地域の交流が増加 ……P9

予想以上に地域の交流が増加しています ……P10

高速道路開通で年間約110億円の経済効果 ……P11

高速道路開通で様々な効果を実感 ……P12

残る課題: 東紀州地域の高速道路延伸への期待

○東紀州を一つに

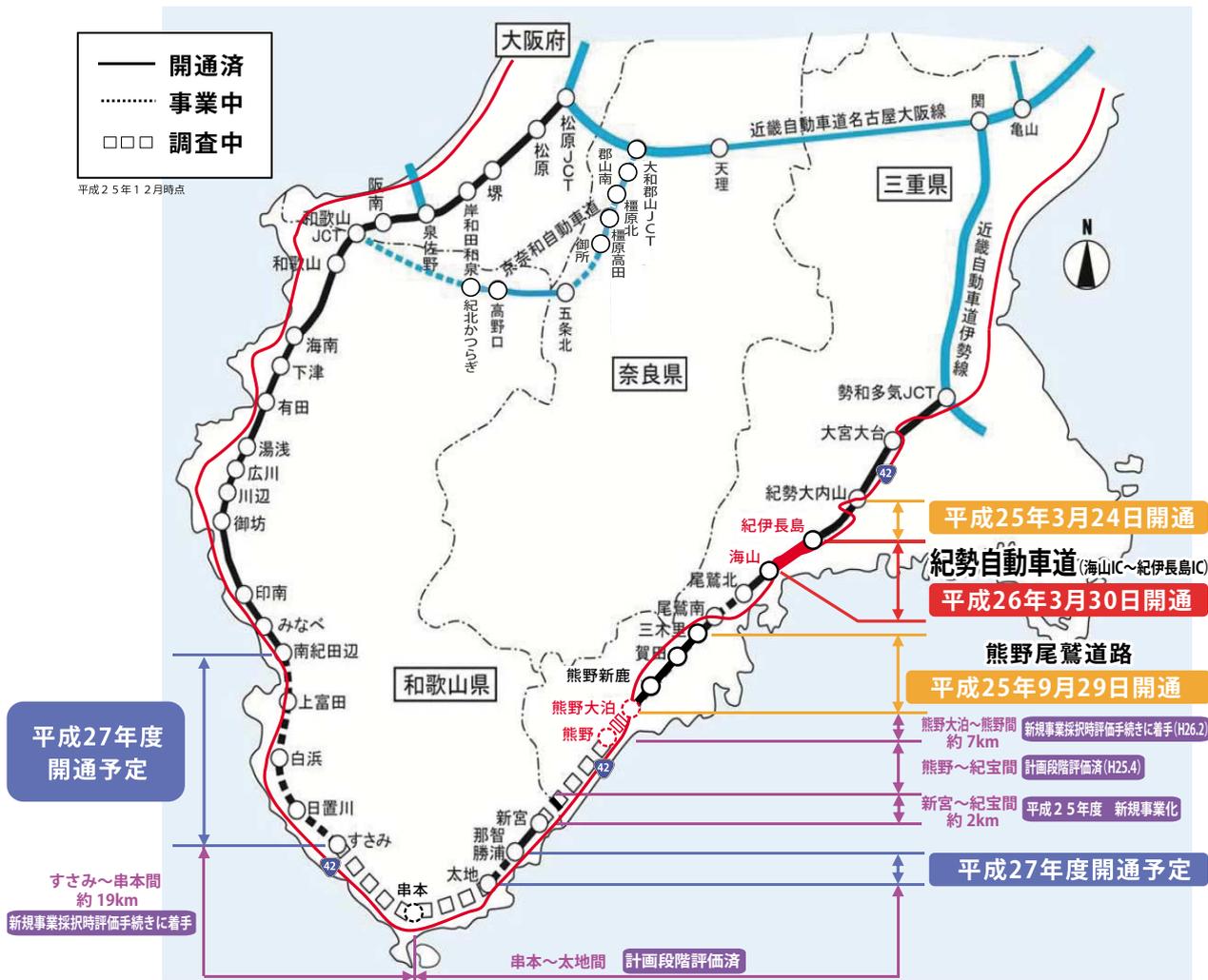
津波に弱い国道42号 地元不安を早期解消へ ……P13

国道42号の分断により11万人の孤立リスク ……P14

南へ！ つながる紀宝 熊野尾鷲道路への展望 ……P15

命・絆・元気の道

紀勢自動車道 開通

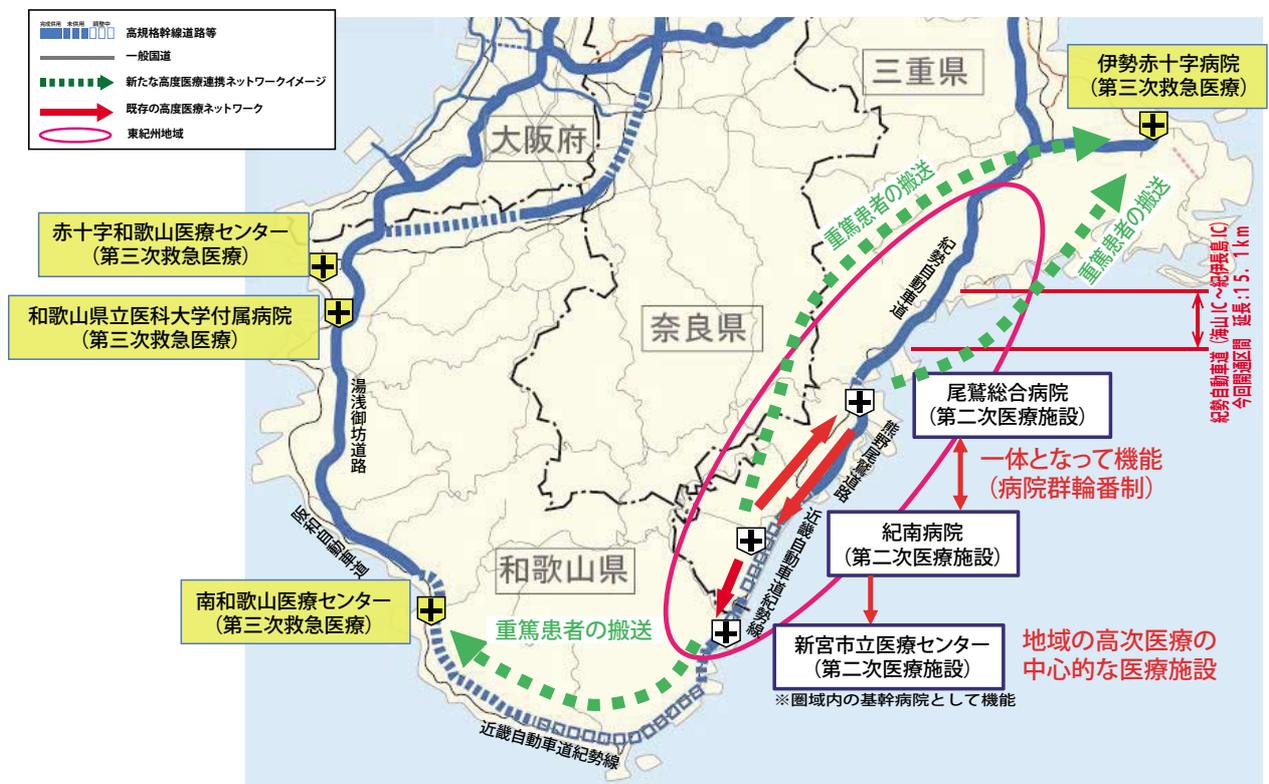


命の道

紀勢自動車道
熊野尾鷲道路
命・絆・元気の道

高度な医療施設群も 近くなります

東紀州地域の第二次救急医療施設は、尾鷲総合病院と紀南病院です。
救急医療において相互の病院が連携をとり、地域の医療を支えます。
また、高規格ネットワークの確立により、高度な医療施設の連携も可能になります。



命の道

紀勢自動車道
熊野尾鷲道路
命・絆・元気の道

津波から逃れる場所 として使えるように

約20mの津波が最短20分で到達する東紀州地域。南海トラフ地震への備えとして、高台に位置する高速道路に14箇所の緊急避難施設を整備しています。



○—○ 高速道路
 ■ 市町村別ケース別津波浸水域 (満潮時・地殻変動考慮)
出典：南海トラフの巨大地震モデル検討会 (第2次報告) H24.8.29



6. 紀伊長島区三浦(新道瀬トンネル尾鷲側坑口)



7. 海山区船津(前柱地区)

市町名	番号	地区名	路線名
北牟婁郡 紀北町	1	紀伊長島区真長島(紀伊長島IC)	紀勢 自動車道
	2	紀伊長島区真長島(紀伊長島IC)	
	3	紀伊長島区長島(紀伊長島トンネル紀北側坑口)	
	4	紀伊長島区加田(紀伊長島トンネル尾鷲側坑口)	
	5	紀伊長島区古里(古里第2トンネル尾鷲側坑口)	
	6	紀伊長島区三浦(新道瀬トンネル尾鷲側坑口)	
	7	海山区船津(前柱地区)	
	8	海山区船津(高丸山トンネル坑口)	
	9	海山区榎ノ山(熊子川明かり郷)	
尾鷲市	10	尾鷲市坂場西町(尾鷲北IC)	紀勢 自動車道
	11	尾鷲市賀田町(賀田IC)	
熊野市	12	熊野市新熊野地区	熊野尾鷲道路
	13	熊野市新熊野IC	
	14	熊野市大泊町(熊野大泊IC)	

避難施設整備箇所一覧表(予定)

命の道

紀勢自動車道
熊野尾鷲道路
命・絆・元気の道

迅速な救命・ 救援活動を支えます

東紀州地域の市街地の大半が津波の影響を受けると予測されています。
津波の影響を受けない高さを通る高速道路が救命・救急を支えます。
また、啓開活動を担う建設業協会の拠点も津波を受けると予想され、高速道路と道の駅等の防災拠点が連携して啓開に必要な機材や資材を供給します。



- 高速道路
- 市町村別ケース別津波浸水域 (高潮時・地殻変動考慮)
出典：南海トラフの巨大地震モデル検討会 (第2次報告) H24.8.29

救援・救助イメージ



関係機関や地域自治体と協力し、高速道路を軸とした、孤立地域への救援・救助ルートの確保を行うため、道路啓開計画などの防災戦略の確立を進めます。

南海トラフ巨大地震対策中部ブロック協議会広域連携防災訓練 (平成25年9月1日実施)の様子



絆の道

紀勢自動車道
熊野尾鷲道路
命・絆・元気の道

これまで遠かった 家族も近づけます

正月、GW、お盆しか会えなかった孫に、毎月会えるようになります。

名古屋

大紀町 紀勢大内山IC
紀伊長島IC
紀北町 海山IC
尾鷲北IC
尾鷲南IC
尾鷲市
三木里IC
賀田IC
熊野新鹿IC
熊野大泊IC

約2時間50分で

熊野

子供たちが車酔いになった峠走行がなくなり、快適に來られます

早く行けるようになるので、おじいちゃん顔が見たいとせがまれます

なかなか来なかった孫が来ると、気持ちが若返った気分になります

孫達家族が頻繁に來るおかげで、家族の絆が深まります

くまのあたしな 熊野新鹿

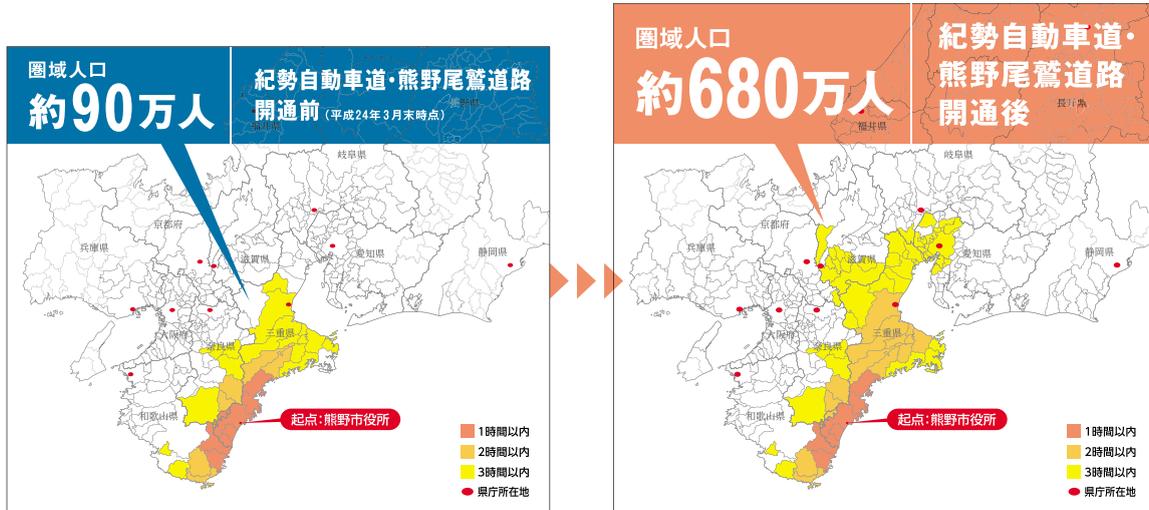
やのことうげ 矢ノ川峠

元気の道

紀勢自動車道
熊野尾鷲道路
命・絆・元気の道

名古屋から日帰りで にぎわい創出へ

紀勢自動車道(海山IC～紀伊長島IC)、熊野尾鷲道路(三木里IC～熊野大泊IC)の開通により、日帰り交流圏域(3時間圏域)が拡大します。
名古屋市から東紀州地域(熊野市)まで、片道3時間以内での移動が可能となり来訪者の増加が期待されます。



出典：人口データは、「平成22年度国勢調査」を基に算出

名古屋からの日帰りでの熊野三山巡りが可能になり、日帰り観光地としての魅力が大きく拡大します。
(三重県観光振興部局の担当者の声)

東海地方からの来訪者は、マイカーで移動することが多いため、高速道路開通により増加を期待しています
(旅行業者の声)



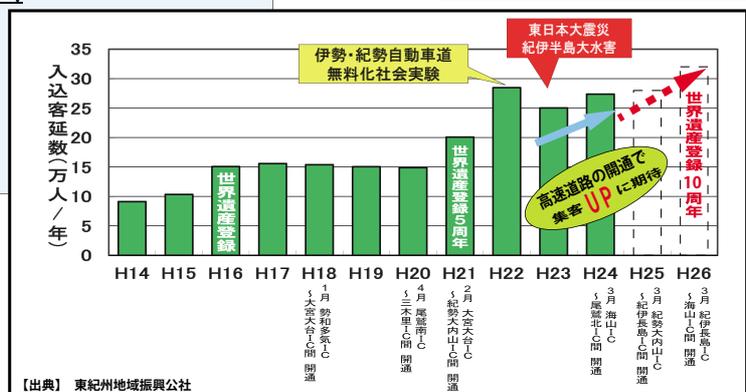
高速道路が開通することで、地域の観光地を巡る周遊プランの利用拡大に大いに期待しています。「何度も来たいけど、時間がかかるから…」との声が多かったので、今後のリピーター拡大に期待をしています。
(旅行業者の声)

元気の道

紀勢自動車道
熊野尾鷲道路
命・絆・元気の道

2014 熊野古道 世界遺産登録10周年

熊野古道が「紀伊山地の霊場と参詣道」として世界遺産登録されてから今年で10周年。世界遺産登録以降、古道来訪者は年々増加し、平成23年には25万人を記録しています。三重県や各自治体は、様々な催しを企画しており、紀勢自動車道・熊野尾鷲道路の開通と相まって、さらなる集客が期待されています。



元気の道

紀勢自動車道
熊野尾鷲道路
命・絆・元気の道

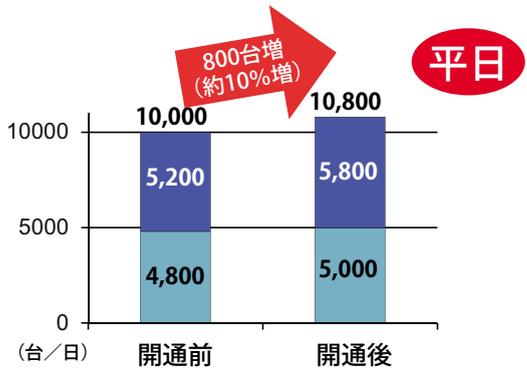
H25.9 高速道路開通で 地域の交流が増加

熊野尾鷲道路がH25.9.29に開通したことにより、三重県南部（東紀州地域）全体の交流が増加しています。今回の紀勢自動車道（海山IC～紀伊長島IC）の開通により、さらなる交流の増加が期待されます。

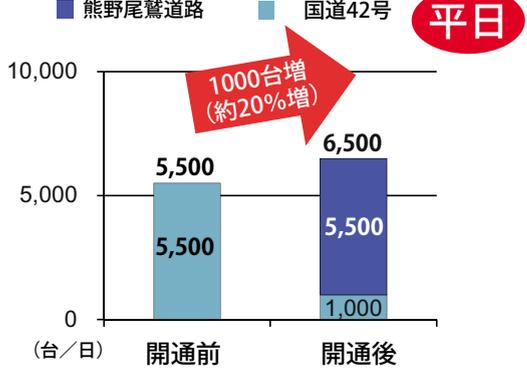


【調査日】
開通前 平成25年9月25日（水）
開通後 平成25年10月30日（水）

①東紀州地域北部（大紀～紀北間）
（紀勢自動車道+国道42号）



②東紀州地域中部（尾鷲～熊野間）
（国道42号+熊野尾鷲道路）



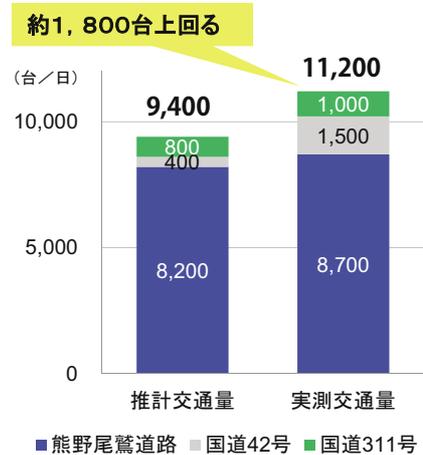
元気の道

紀勢自動車道
熊野尾鷲道路
命・絆・元気の道

予想値以上に地域の 交流が増加しています

熊野尾鷲道路では、事前の予測交通量の約1.2倍(約1800台)に交流が増加しています。

尾鷲南－三木里の予測交通量と実測交通量との比較



凡例

- 開通済 事業中
- 高規格幹線道路等
- 一般国道(直轄)
- 一般国道
- 主要地方道
- 一般県道

凡例(比較箇所)

- 国道42号
- 熊野尾鷲道路
- 国道311号

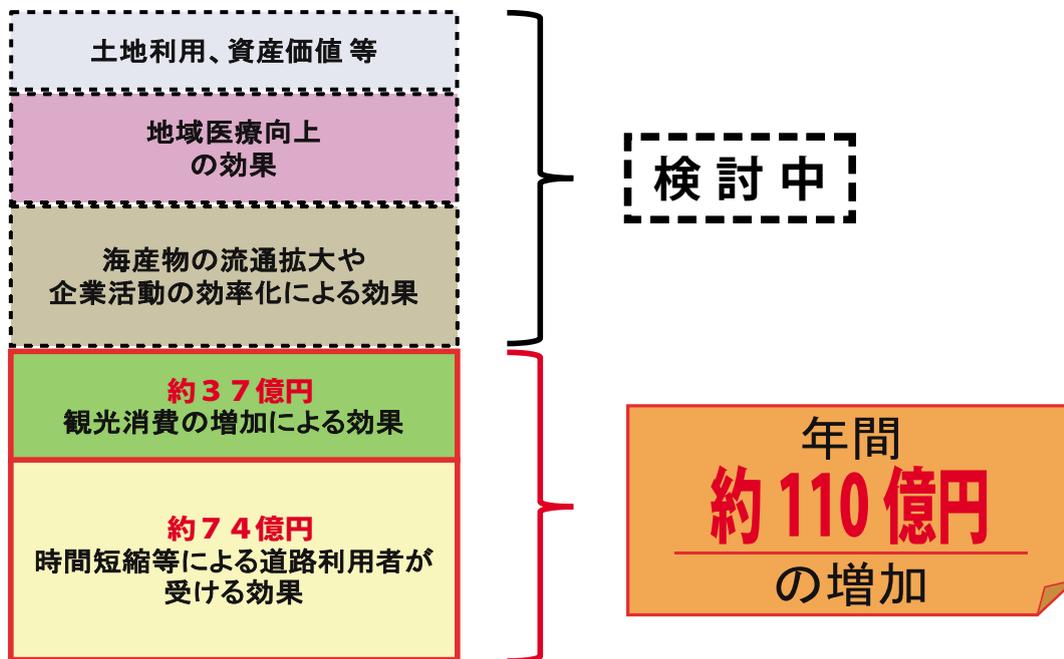
【データ】
推計交通量：H42推計値
(現在供用しているネットワークで試算)
実測交通量：平日：平成25年10月30日、
休日：平成25年11月3日の実測
交通量を年平均に換算した値

元気の道

紀勢自動車道
熊野尾鷲道路
命・絆・元気の道

高速道路開通で 年間約110億円の経済効果

熊野尾鷲道路開通に伴う経済効果については、道路利用者が受ける直接的な便益効果が年間約74億円、また観光消費がもたらす経済波及効果は年間約37億円となり、少なくとも約110億円(年額)と試算されます。



資料：中部地方整備局事業評価監視委員会 一般国道42号熊野尾鷲道路説明資料（平成25年11月1日 中部地方整備局）
三重県観光振興基本計画（平成24年3月 三重県）、三重県観光振興基本計画年次報告書（参考資料）（平成25年9月 三重県）
熊野尾鷲道路1か月後の交通状況記者発表資料（平成25年12月6日 紀勢国道事務所）、産業連関分析レポート（三重の観光）（平成22年）

元気の道

紀勢自動車道
熊野尾鷲道路
命・絆・元気の道

高速道路開通で 様々な効果を実感

熊野尾鷲道路が開通したことにより、各方面で様々な効果が表れています。

■バス事業者の声



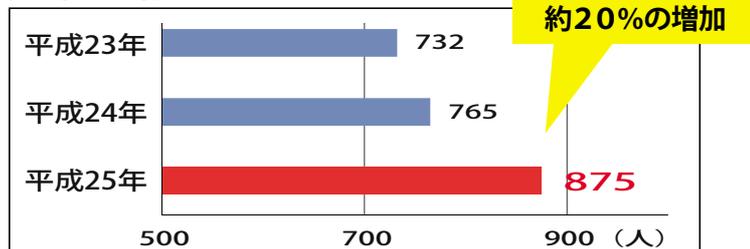
名古屋南紀高速バス（那智勝浦町～名古屋市）の運行については、熊野尾鷲道路へ運行経路の変更（所要時間が15分短縮）や、今後の増便を検討している。

■医療関係者の声



- ・高速道路の開通で医療圏が拡大している。
- ・高速道路の開通で通院が便利になったためではないか。

尾鷲総合病院における熊野市からの外来患者数
（10月～12月）



データ出典：尾鷲総合病院からの提供資料より作成

■漁業関係者の声



- ・搬送時間が短縮されることから、取引の圏域が拡大される。
- ・早く納品できることから、取引量が増加。

東紀州を一つに

国道42号の分断により 約11万人の孤立リスク

高速道路の開通により、災害時の代替路としての役割を担うダブルネットワークが確保されます。しかし、熊野市以南の三重県南部地域～和歌山県北部地域においては、脆弱な国道42号のみであり、国道42号が被災すれば、地域孤立の危機にあります。



人口については、各市町の総人口 (平成26年1月現在)

東紀州を一つに

南へ! つながる紀宝 熊野尾鷲道路への展望

「命・絆・元気の道」がつながることで、様々な効果が期待されます。

命がつながる

台風被害や地震による津波被害などにも、国道42号と高速道路のダブルネットワークの整備により、救援・救助ルートが確保され、暮らしの安心につながります。

絆がつながる

短時間でより遠くまで移動が可能な高速道路の整備により、日常の生活圏が拡大し、地域間交流の絆につながります。



元気がつながる

高速アクセス向上により移動時間の大幅な短縮が可能となり、地域資源を活かした観光産業の向上、農林水産物の輸送範囲拡大など、地場産業の発展が地域の活性化につながります。